

情報学群実験第 4C/4i 実験レポート 第 1 回

情報学群実験レポートクラスファイル利用例

1250373 溝口 洸熙*

Group 5C

July 3rd, 2023

第 1 章

プリアンブルの記述

`\titlehead{}` 実験タイトルの上部に記述する文字列を入力する，実験名やレポート回数など．

`\title{}` レポートのタイトルを入力する．

`\studentid{}` 学籍番号を入力する．

`\name{}` 氏名を入力する．

`\group{}` 所属グループ名を入力する．

`\institution{}` 所属大学・研究室を入力する．

`\date{}` 更新日か提出期限を入力する．

第 2 章

相互参照

2.1 図の挿入と図の参照

`figure` 環境内で`\includegraphics[options]{file path}`を用いて図を挿入する。図の場合は、図の下に`\caption{}`をつける。`\caption{}`の下には`\label{}`を宣言し、`\figref{}`相互参照する。

```
\begin{figure}[h]
  \centering % 中央寄せする.
  % 図の挿入, 比を保ち, 横幅3に. cm
  \includegraphics[keepaspectratio,width=3cm]{tiger.pdf}
  \captionキャプション{}
  \label{fig:example}
\end{figure}
\figref{fig:exampleに～を示す. }
```



図 2-1 キャプション

図 2-1 に～を示す。

2.2 表の作成と参照

`table` 環境内で作成した表の参照には`\tblref{}`を用いると、「表 XX」と表示される。
例：表 2-1 に、九州の政令指定都市を示す。

表 2-1 九州の政令指定都市

福岡県	福岡市
福岡県	北九州市
熊本県	熊本市

付録

A 付録の付け方

付録は、`\appendix` と書く。ソースコードを挿入するには、`lstlisting` 環境を使う。

src. A-1 付録です

```
1 print('a')
```

ソースコードの参照は、`\srcref{src:appendix}`（結果：src.A-1）のようにします。